

小学校

バスケットの試合を終えて

六年B組 片岡 龍之介

競技会では、よい結果を残すことができなかったけど、男子バスケットボール部の試合はとてもよかったと思います。試合はすべて負けてしまったけど、みんな心から楽しんでバスケットをしていました。負けていてもお互いに声をかけて最後まで集中して試合をしました。シュートが決まった時は、みんな笑顔になって、自分も笑顔で楽しく試合をすることができました。ベンチにいる控え選手の声援も大きくて、とてもいい雰囲気だったのでよかったです。

一生懸命練習したけど、勝つことができなくてとても悔しい思いをしました。なので、いっしょに練習した五年生の子は、来年こそ優勝してほしいと思います。これからもバスケットが好きで、楽しくプレーして試合に勝つ。そんな男子バスケットボール部になってほしいと思います。



みんなで大勝ち取った優勝

六年B組 種村 亞夢

「いい選手になる前にいい人間になれ。」

部活が始まって最初に先生に言われた言葉です。あいさつや返事、マナーなど学園の代表として当たり前のことをしっかりやること。いい人間でなければ、いい選手にはなれない。どんなことにも通じるものがあり、その言葉を大切にしていこうと思いました。

練習は中学生にも協力してもらい、ツーマンという練習も教えてもらいました。初めはなかなかうまくできなかった練習も、毎日練習するうちにできるようになりました。

待ちに待った本番。みんなで大陣を組み、気合いを入れました。予選は一位通過。決勝では学戸小と戦いました。相手もがんばって強かったけど、私たちもあきらめずにがんばったので勝つことができました。とてもうれしかったです。みんなで大勝ち取った優勝。心に残る競技会になってよかったです。



悔しかった競技会

六年B組 野中 栄哲

僕たちサッカー部は、夏休みから、競技会に向けて一生けん命練習をしてきました。競技会では、一試合目に舟入小と戦いました。最初はきんちようしていましたが、やっていくうちにいつものプレーが出てきて、六対〇で勝つことができました。二試合目は、新蟹江小と戦いました。新蟹江小は最初の試合で、圧勝していたので、とても強そうだと思います。二試合目の結果は〇対〇の同点でしたが、得失点差で決勝に進むことができました。

決勝は学戸小と戦い、三対〇で負けてしまいました。最後まであきらめずにプレーしました。でも、もう少し声を出していただければ結果も変わっていたかもしれないと思います。悔しい気持ちになりました。

この悔しい気持ちを忘れずに、中学校に行ってもサツカーをがんばりたいと思います。



中学校

村民体育祭が終わって

九年A組 大原 隆

中学生最後の村民体育祭は、すばらしい形で終わることができました。中学三年生は毎年、ボランティアとして仕事をします。僕はバザーをしました。思ったよりも商品が集まったので、値段をつけたりするのが大変でしたが、ほとんど売れたのでとても嬉しかったです。こんなに人が来るとは思っていなかったので、とてもびっくりしました。競技では、最初、三ブロックに分かれて応援演技を踊りました。これをミスなく終われてよかったです。

リレーではとても緊張したけど、ちゃんと走れて一位という結果でとても満足しています。

この村民体育祭は何も問題なくいい感じで進み、楽しい日となりました。この一日の思い出を大切にしていきたいです。これから受験まではとても大変だと思っても、精一杯頑張りたいと思います。最後にこのすばらしい村民体育祭に関わったすべての人に感謝したいと思います。





2015年12月1日

広報とびしま

です。本当にありがとうございます。うれしいと思えました。

村民体育祭を終えて

九年A組 山田 陽太

中学生になってから、毎年村民体育祭では、村の手伝いをしました。そして今年は、最後の村民体育祭ということで精一杯全力でやろうと思えました。

九年生の仕事は、ボランティアで、ぼくは、わなげを当日やることになりました。景品や道具の準備や、当日の運営など全部自分たちでやっていくのでたいへんでした。初めは、全然人なんて来ないんじゃないのかと思っていました。自分で予想していた人数よりも多くの人が来てくれたのでうれしかったです。

中学生としての最後の村民体育祭は、何事もなく順調に終わり、わなげの方も失敗することなく多くの人がやってもらえることができたのでよかったです。

このボランティアでの売上金は、飛鳥村社会福祉協議会に寄付されました。ぼくたち九年生が集めたお金



が村のために使われる事はとてもうれしいと思えました。

村民体育祭最後の思い出

九年B組 井田 萌日

年齢関係なく地区ごとに競い合い村民全員で盛り上がる体育祭。飛鳥学園の生徒として参加するのは最後となりました。

中学生が必ずやるプログラムはマステゲームです。一度だけ練習したけれど体育祭以来踊っていないのに踊るのはとても不安でした。しかし、最後だという気持ちからなのか笑顔で踊りきることができ、また他の人の踊りを見て楽しむことができました。

九年生は村民体育祭の手伝いとしてボランティアをやりました。バザーやストラックアウト、サッカーボーリング、スタンプラリーなどを行いました。私は時間合わせにチャレンジを行いました。一人友達がいらないことに寂しく思いましたが、予想より多く人が来てくれて、小さな子に人気でした。ボランティアをしたことがあっても自分で考え、自分で作り行うことではなかったため、今回のボランティア活動はとても楽しく、自分の成長のために必要なものだったと思います。これからは受験勉強をがんばり、

己の夢へ近づき、己の志を叶えるために頑張りたいと思います。



ボランティアで感じたこと

九年B組 塚松 夏実

十月十二日に村民体育祭がありました。私たち九年生は毎年恒例のボランティア活動を行いました。

私は魚つりのボランティアを担当しました。前日までの準備や制作などは思っていたより大変でしたが、完成に近づくたびに当日が待ち遠しく思えてきました。

そして当日になり緊張もある中、ボランティア活動が始まりました。

私ははじめに、友達と呼びかけに行きました。最初は緊張して大きな声を出すことができず、少し不安になりました。でも友達が大きな声で呼びかけをしてくれたので私も頑張って大きい声を出しました。

呼びかけが終わり、自分たちの店に戻ると、数人の人達が魚つり

をやっている姿が目に見え、とてもうれしかったです。

そしてだんだん大勢の人が来てくださり忙しくなりました。保育園の子や、小学生もたくさん参加してくれて本当にうれしかったです。やりがいも感じました。私はこのボランティアをし、人との関わりがとても大切だということが分かりました。いい思い出ができて良かったです。



飛鳥学園 12月の行事予定

- 1日(火) もちつき大会 ㊦
- 8日(火)~10日(木) 三者懇談 ㊥
- 8日(火)~10日(木) 個人懇談 ㊦
- 14日(月) 6年租税教室 ㊦
- 14日(月) 入学説明会 ㊥
- 21日(月) 給食終了 ㊦㊥
- 22日(火) 終業式 ㊦㊥

